

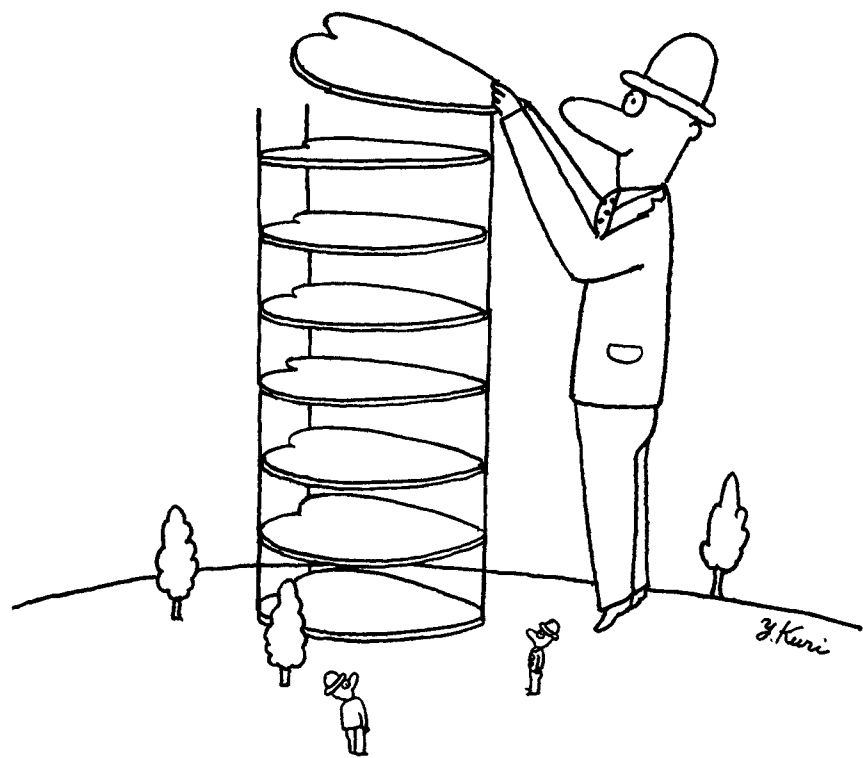


私たち佐藤工業は、創業以来お客さまからの信頼を第一に考え、時代が求める最新の技術で社会に貢献してきました。いま、私たちは、お客さまの信頼とご期待に応えるとともに、人と自然の共生のために全力で取り組んでいます。

— 総合建設業／創業1862年 —



佐藤工業株式会社
http://www.satokogyo.co.jp



—人と地球の未来を考える—



本社●〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2-1 TEL03-3260-2111
ホームページ URL <http://www.kumagaigumi.co.jp>

考える街づくり

米国の「ニューアーバニズム」(コンセプト)

多様性、コミュニティ、質素、ヒューマン・スケールといった
伝統的な価値観に基づく新しい都市づくり、まちづくりの動き

- ① 歩行者を優先した自動車への依存を少なくする都市構造
- ② 環境に優しい公共交通システムの導入
- ③ 歩行圏内の適度な多様な用途の複合
- ④ 地区内のバランスの取れた就住の融合
- ⑤ 多様なニーズに応えた住宅タイプの供給
- ⑥ 街のアクティビティ空間としての街路
- ⑦ 自然環境の保護と生態系の保全
- ⑧ 計画プロセスへの住民参加

英国の「アーバンビレッジ」(コンセプト)

英国の伝統的なコミュニティを再評価し、
その利点を現代の都市再生と持続可能な都市形成に活かすこと

- ① アメニティーを備えたコンパクトな歩行生活圏
- ② 総合的な用途の複合
- ③ 多様な住宅タイプ、所有形態、様々な社会階層の共生
- ④ 自転車利用最優先のコミュニティ・デザイン
- ⑤ 場所の感覚、地域個性の重視、質の高い公共空間
- ⑥ 建設・運営の段階での地域コミュニティへの関与
- ⑦ 環境的、経済的、社会的に持続可能なコミュニティの実現

れてきているもの。多様な個性「コミュニティ」、質素ヒューマン・スケールといった伝統的な価値観に基づいた新しい都市づくり、まちづくりの動きをいっ。

そのコンセプトは、①歩行者を優先した自動車への依存を少なくする都市構造②環境に優しい公共交通システムの導入③歩行圏内での適度な多様な用途の複合④地区内のバランスの取れた就住の融合⑤多様なニーズに応えた住宅タイプの供給⑥町のアクティビティ空間としての街路⑦自然環境の保護と生態系の保全⑧計画プロセスへの住民参加である。

(次ページに続く)

「コンバクトシティ」とは、「市街地のスケールを小さく保ち、歩いて行ける範囲を生活圏ととらえ、コミュニティの再生や住みやすいまちづくりを目指す」という発想「ヒューマンスケールな職住近接型まちづくりを目指しているため、おのずと自己完結性が高くなる。それは、「個」と「公」とのつながりの大きさをあまり大きくしなないということであり、個人から家族、一つの家族から数家族のまとまりでコミュニティが形成されるためだ。例えば、生活範囲は自

東日本大震災を契機に「コンパクトシティ」が再認識されているようだ。これは、「大震災で壊滅的な損害を被った市街地をどのようにより建すべきか」という点から注目されていると思われる。その「あるべきイメージ」は「コンパクトシティ」である。（大和総合研究所）というリポートも出されている。

テンフェイ線

テンフェイ総合計画代表 高橋 俊介

社会学的な面の強さが 防災で力を発揮する

少し前にサステナブル・ソサエティ（持続可能な社会）という言葉が欧米から輸入されたが、日本の学者も役人も導入当初は意味を勘違いしていたことがある。「先進的な技術を使って長寿命を設備を備えた建築・都市を実現するもの」であったとか「環境に優しくすること」で経済活動に持続性を持つこと」さうして、省エネルギー普及や未開な都市計画論を唱えるばかりで、誰もそこに生活する人の「心」を主体としてとらえられる人はほとんどいなかった。サステナブルは、社会的な面を改善して得られるものであり、物質

つている欧米ですすめられてきた。先進国が集まるといって、その社会を欧米の社会とされたものを取り戻すというのがあり、コンパクトシティであるわけで、コンパクトシティとサステナブルシティとの関係は密接であり、社会的な面の強さが防災力を発揮するということである。

コンパクトシティといふことは国際的に有名なのは、米国の「ニューアーバニズム」や英国の「ニューアーバニズム」な「アーバニゼーション」なのである。

米国の「ニューアーバニズム」は、米国の大都市の目指す新しい都市像

災害にはなりにくい。隣組の消防団などがあり、住民全員のリストを住人の皆が把握しているため、緊急時の対応が早い。

的には充足された都市の生活で失われたのが「人と人とのつながり」であったことに気が付き、それを取り戻そうということである。

防災のトビシマ

豊富な経験と技術力を生かし、
安全で安心な社会づくりに貢献します。



本社／東京都千代田区三番町2番地
〒102-8332 TEL.03(5214)8200
<http://www.tobishima.co.jp>

駅をつくる、道をつくる、街をつくる
現場のチカラ



信用と技術の——
鉄 建

〒101-8366 東京都千代田区三崎町 2-5-3 Tel.03-3221-2152